

史佳

Fumiyoshi

ライブ 2015

サポートミュージシャン
松井リカ (パーカッション)
更家健吾 (史佳一番弟子)

高橋竹山の流れを汲む弾き三味線をベースに
津軽の民謡を深く呼吸し
新しいチャレンジをくり返しなが
いま、新潟の響きを奏でる三味線プレイヤー



申し込み 電話: FAX 025-222-2676 (砂丘館)
またはEメール sakjukan@bz03.plala.or.jp
*FAX、Eメールの場合は連絡先(電話番号)人数を併記して下さい。

定員 500名
参加料 2500円(茶菓付き)
主催 砂丘館

3
29 (日)

14:00~

・津軽じょんから節
・十三の砂山・即興曲 ほか

史佳 Fumiyoshi (ふみよし)

ふるさと新潟に拠点を置き、三味線プレイヤーとして国内外で演奏・講演活動を行う。音の響きを大切に“弾き三味線”奏法を得意とし、津軽三味線のスタンダード曲はもちろんのこと、近年は作曲家/アレンジャーの長岡成貢氏とともに新しい楽曲作りにも取り組み、古典をベースとしつつ、伝統芸能の枠を超えた新しいニッポンの音楽を目指して活動している。1974年新潟生まれ。9歳より津軽三味線の師匠であり母でもある高橋竹育より三味線を習い始め、2000年よりプロ活動をスタート。ホールコンサートの他、国指定重要文化財の日本建築等でも演奏会活動を行い、2011年にはルーブル美術館にて日本人として初めて演奏を披露。2001年に1stアルバム「新風」を高橋竹秀の名で、2003年には本名である小林史佳としてオリジナル曲を含む2ndアルバム「ROOTS TABBITO」をリリース。2006年リリースの3rdアルバム「Ballade」では弦楽四重奏との融合にも取り組み、三味線の楽器としての新たな可能性も追求。2010年には津軽三味線の名人・初代高橋竹山とかつて共に全国を回った、民謡の生きる伝説・初代須藤雲栄師とのライブを収録した4thアルバム「風の風伝(かぜのことづて)」、2012年にはそれに続く5thアルバム「続 風の風伝」を“fontec”レーベルよりリリース。同年よりアーティストネームを“史佳 Fumiyoshi”と改め、故郷新潟をテーマにしたオリジナル曲「桃花鳥-toki-」を発表。2013年には自主レーベル“penetrate”を立ち上げ、全曲オリジナル楽曲のアルバム「宇宙と大地の詩」をリリース。その他、自らの挫折から患ったうつ病体験を語る講演を、ライフワークとして教育機関や自殺予防事業などを通じて積極的に行っている。

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1
tel./fax.025-222-2676
sakjukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。
●新潟駅からのバス:西循環(12-12A系統)又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を
応援しています。

新潟日産自動車株式会社

香園あられ株式会社

NSGグループ

株式会社ナレッジライフ

新潟ビルサービス

丸屋本店

藤田金属

郷土の文化に親しむ会